

新井宿 俳句のたしなみ講座より

鬼は外言わぬ官司と豆をまき (井上 佳江子)

「雪は降るあなたは来ない」とアダモかな (安岡 大作)

受賞おめでとうございます

- 大田区政功労者表彰**
 ◇建築紛争調停委員会 奥田 和子 ◇消防団員 荒木 真弓
 ◇自治会・町会(会長・副会長) 松原 美枝子 山室 節子
 ◇青少年対策地区委員会 和田 芳明 ◇投票管理者 西條 誠一
- 民生委員・児童委員に対する厚生労働大臣特別表彰**
 和田 芳明
- 東京都民生委員・児童委員大会**
 ◇特別功労賞
 福原 美子 平林 圭子 奥田 和子 山口 美由紀 和田 芳明
- 全国民生委員児童委員連合会会長表彰**
 ◇永年勤続民生委員・児童委員表彰(在職10年以上) 水島 玲子
- 永年勤続退任民生委員・児童委員表彰**
 篠田 昭美 和田 芳明
- 防災市民組織感謝状**
 岩井 信夫 廣瀬 晴美 上原 祐子 羽田野 治朗
 石井 貴久 稲田 祐命 林 牧人 本間 恵美

新井宿地区 4～7月の行事日程

開催日	イベント	会場	主催
4月12日(日)	新井宿義民六人衆三百五十年祭	(パレード:池上通り)日枝神社～善慶寺	新井宿義民六人衆顕彰会
5年に1度の仮装六人衆とお稚児さんパレード			
4月26日(日)	大田区子どもガーデンパーティー	大田文化の森	青少年対策新井宿地区委員会
6月13・14日(土・日)	春日神社例大祭	春日神社境内	春日神社
14日(日)に大神輿の渡御があります。			
7月25日(土)	大田文化の森夏祭り	大田文化の森	新井宿自治会連合会

発行 地域力推進新井宿地区委員会
 編集 「わがまち新井宿」編集委員会

中央一丁目町会	編集委員長	関口 直人
山王三丁目町会	副編集委員長	吉川 信一
新井宿五丁目町会	副編集委員長	谷口 敏子
山王三丁目東自治会	編集委員	荒木 秀樹
山王三・四丁目自治会	編集委員	三沢 清太郎
山王三・四丁目自治会	編集委員	岡本 浩子
山王三・四丁目自治会	編集委員	高橋 弘樹
山王三丁目町会	編集委員	小関 智子
中央一丁目町会	編集委員	形見 俊郎
中央四丁目町会	編集委員	佐々木 泰子
新井宿五丁目町会	編集委員	加藤 弘子
新井宿六丁目町会	編集委員	松木 由紀子
新井宿六丁目町会	編集委員	斉木 貞子
新井宿七丁目町会	編集委員	本田 君子

……共同編集……

監修 新井宿自治会連合会
 事務局 大田区新井宿特別出張所
 大田区中央1-21-6 ☎3776-5391

<http://www.city.ota.tokyo.jp/omori/index.html>

新井宿特別出張所管内の世帯と人口 令和8年2月1日現在

- 世帯数…12,015世帯 前年同月比 -16世帯
- 総人口…21,925人 前年同月比 -71人(男-9人 女-62人)
- (男…10,912人 女…11,013人)

新井宿俳句会のひととき

新井宿俳句会は様々な年代の男女が参加しており、もの見方や感じ方が違う人たちがひとつの「座」を共有しています。新井宿俳句会のメンバーは積極的に俳句作りに取り組み、出来あがった俳句を持ち寄り句会で交流を深めています。

前半では、出された俳句の中から共感共鳴した俳句を5句選びます。選ぶ時の観点は作者の思いが作品から伝わってくるか、その思いを受け入れることができるかということです。自分自身が実際に見たことや経験したことでも、その句から情景や思いが浮かび上がってきます。選んだ俳句から多様な刺激を受けることができます。

後半では、自分が選んだ俳句の感想や意見を自由に発表します。このとき、選をした人が感想を言い終えるまで作者の名前を伏せておきます。ですから、作者に遠慮することなく思ったことを言えるのです。そして、作品に対する感想や意見が終わったあとに作者が名乗りを上げて作品に対する思いを述べます。句会という「座」の面白さは、まわりに遠慮することなく自分が思ったことを率直に言えるところにあります。

俳句を作るうえで大切な3つの要素を挙げます。①個性…自分らしさや自分の持ち味を磨く。②感性…感じる心を育てるために、五感(見る・聴く・嗅ぐ・味わう・触れる)を働かせる。③人間性…人としての資質(思いやり)の心を養う。

最後に皆さんへ俳人大野林火の言葉を贈ります。

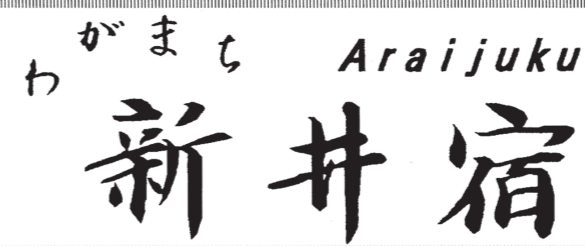
『言葉はやさしく 思いは深く』

(新井宿俳句会講師 山根繁義)



編集後記

「わがまち新井宿」の編集委員となって1年余り、最初は、他の編集委員の話が理解できず、困りましたが、最近はそのポイントをつかめるようになりました。そんな中、編集会議を通して、この町新井宿に多くの文化人が住まわれていたことが分かってきました。今回取り上げた佐藤正治さんもその一人です。またひとつこの町のことを知りました。(本田編集委員)



「くまの生物」 山王小 四年 湯本 心葉さんの作品

●地域ゆかりの文化人⑤『セピア色の思い出』 佐藤 正治(声優)

私は蒲田に転居する三年ほど前までは、新井宿に76年間住んでおりました。子供の頃は白田坂下通りの都民銀行(現・きらぼし銀行)付近をあちこち移り住み、やがて現在の春日公園の近くに長く暮らしていたのです。毎年大晦日は紅白が終わると春日神社に初詣に出かけ、お神酒と焼き芋を頂いて破魔矢を授かってるのが年中行事になっていました。年々初詣の行列は長くなり、境内を出て春日公園あたりまで伸びて行ったのです。

子供の頃を振り返ると区役所(現・大田文化の森)から白田坂下まで、まだ空き地が多く、トイレが水洗ではなかった時代ですから、肥え桶を運ぶ馬車がポカポカと足音を道路に響かせていました。春日神社のお祭りには今でも多くの出店が並び賑わいますが、当時は近くの空き地にまで見世物小屋なるものが登場し、「親の因果が子に報い、花ちゃんや〜い」といった口上で始まる奇妙な世界にも人々が集まり溢れました。環七から家にたどり着くまで、人波をかき分けかき分け大変な思いをしたものです。

その頃の春日神社前の通りには、今では考えられない程多くの商店が建ち並びました。八百屋、理髪店、果物屋、駄菓子屋、下駄屋、呉服屋、米屋、魚屋、肉屋、燃料屋、写真屋、寿司屋、陶器屋、蕎麦屋、焼き芋屋、山羊のミルク屋、貸本屋、自転車屋、医院など、夕方には人通りも多く賑やかでした。母から買い物をお願いされては、出掛けて行った店のオジサンやオバサンと話し、顔を覚えました。町全体に広がる活気があったように思います。

初夏には春日神社で町内会主催の子供相撲大会が催されました。境内に作られた土俵で小学生の力士たちが取り組みをし、熱戦に拍手と歓声が沸きます。熱戦を繰り広げた後は勝ち力士も負け力士も懸賞の風呂券をもらい、近くの銭湯、美奈見の湯(現・美奈見こころ保育園)で汗を流しました。お風呂にみんなで入り、ワイワイガヤガヤした日のことは今も楽しい思い出です。

夏になると道に縁台や長椅子を出し夕涼みをしました。近頃の酷暑と違い、日が沈み始めると風が爽やかに感じられたものです。神社の境内に大きなスクリーンを張り、納涼映画会が開かれました。たまに風が強いとスクリーンの人間がいびつになつたりしたのが、何か懐かしい記憶として残っ

ています。映画会で今でもよく覚えているのは洋画の『オズの魔法使い』、そして邦画では『風の又三郎』でした。

当時の子供たちは路地でよく遊んでいました。今考えると、よくこんな狭いところで遊べたと感心します。まだ世の中に車の数が少なかったのです。公園も子供たちで溢れていました。三角ベース、ベーゴマ、鬼ごっこ、跳び馬など。学校が終わるとみんなが集まって来て、学年に関係なく夕暮れまで遊んでいたような気がします。テレビも夕方まで放送を休んでいましたし、テレビゲームやパソコンのない時代だったのです。小学生になる前に、近所の子供たちと入二小のプールに行き、そこで自然に泳ぎを覚えた記憶があります。遊び仲間のお兄さんお姉さんのお陰だったのかも知れません。

親からお小遣いを10円もらうと、干物屋でスルメを買い、池上本門寺の弁天池へ行きました。スルメをエサにザリガニ釣りをしたのです。本門寺周辺もまだ野っ原が多く、家もあまり建っていませんでした。風が吹くと砂ぼこりが舞い上がっていました。池の周りには柵も何もなく、倒木もそのまままで荒れていました。敗戦から10年も経っていなかった頃、それらは色鮮やかな天然色ではなく、淡いセピア色の思い出として胸に刻まれています。



【佐藤 正治】
 1946年7月1日に新井宿四丁目に生まれる。入二小の頃より児童劇団に入団、子役として活動。大森三中、都立芝商業高校の演劇部に所属し、駒沢大学時代に劇団創現へ入団して舞台俳優となる。やがて青二プロダクションに所属し、太く低い声を生かして声優の道を進み、数多くのテレビや劇場のアニメーション、ゲーム、洋画やテレビドラマの吹き替え、その他CMのナレーションまで幅広く活躍してきた。例えば、ドラゴンボールZの亀仙人とか、キン肉マンのバッファローマンとか、CM家庭教師のトライのアルムおんじ、と言えば声が聞こえてくる方もいらっしゃるのでは！

自転車安全運転の免許皆伝を目指しましょう。わたしたちの誰一人、事故の被害者にも加害者にもならないために!!

この4月1日より導入される交通反則通告制度について大森警察署交通課に説明して頂きました。

※以下は、違反の一例です

信号無視 6,000 円	一時不停止 5,000 円	右側通行 6,000 円	携帯電話使用等(保持) 12,000 円	遮断踏切立入り 7,000 円	制動装置(ブレーキ)不良 5,000 円
-----------------	------------------	-----------------	-------------------------	--------------------	-------------------------



2026 年 4 月 1 日 交通反則通告制度開始

自転車の交通違反 青切符が導入されます

交通安全情報
大森警察署交通課

自転車に関する事故が後を絶たず、利用者のルール、マナー違反も大きな社会問題となっています。自転車の安全利用を促し、交通事故を減少させるため、指導取締りを強化しており、これを迅速に処理することで、実効性のある責任追及を可能とし、自転車に関する事故の抑止を図るために交通反則通告制度が導入されます。

Q1 4月1日から何が変わる??
 自転車の運転者が交通違反をした後の手続き方法が変わります。
 (反則通告制度(青切符)が導入されます)
 自転車の乗り方に関するルールが変わるわけではありません!
 今まで通り安全運転をお願いします。

Q2 交通反則通告制度って何?
 運転者が反則行為をした場合、一定期間内に反則金を納めると、刑事手続きには移行せず、刑事裁判や家庭裁判所の審判を受けずに事件が終結する制度です。いわゆる青切符制度とも言われ、前科がつきません。

Q3 青切符って何?
 反則行為となる事実の要旨等が記載された青色の用紙です。正式名称は「交通反則告知書」といいます。

Q4 反則行為って何?
 信号無視などの違反行為を警察官が実際に見て、明らかに違反行為を行ったと判断できるものです。

Q5 何歳から対象になるの?
 交通反則通告制度は、16歳以上が対象です。

Q6 取締りを受けた後は?
 銀行や郵便局の窓口で反則金を納付すると手続きは終了します。反則金の納付は任意ですが、納付しない場合は刑事手続きに移行します。

自転車で歩道を走ったら違反??



自転車は車の仲間です。車道の左側を通行するのが原則です。下記例外時などは歩道を通行することができますが…歩道は歩行者優先!!車道寄りを徐行し、歩行者の通行を妨げないように適宜押し歩きをするなどの思いやり運転をしましょう!
 (例外)①普通自転車歩道通行可の標識がある場合②13歳未満の子どもや70歳以上の高齢者・身体の不自由な方が運転しているとき③道路工事や渋滞・車道の幅が狭い・自動車の通行量が多く危険がある場合

2025年10月オープン『山口体験美術館の「体験」とは?』(大田区中央八丁目28番12号)



山口体験美術館は、館主でありコレクターの山口伸廣が、幼少期を過ごした大田区へ669点の美術作品を寄贈したことから始まりました。長い時間をかけて集められてきたこれらの作品を、限られた人のものにせず、多くの方に開きたい。その想いを形にするため、大田区と協力しながら美術館づくりに向き合ってきました。寄贈した作品を公開する場として選ばれたのは、かつて区の土木材料試験場として使われていた施設であり、大田区よりこの建物を借り受け、リノベーションを施し、美術館として生まれ変わらせました。内外装や展示室のしつらえは、専門のデザイナーに委ねるのではなく、山口を筆頭に、学芸員やスタッフ一人ひとりが意見を出し合い、手作業で作っています。クレーンをはじめとした試験場時代の設備をあえて残すなど、町工場として発展した歴史や空間全体の在り方を検討し

ながら人の手でひとつひとつ整えてきたからこそ、どこか温かみのある美術館が形づくられています。

さて、当館が「体験美術館」である理由は、作品を「知る」前に、まず「感じてほしい」と考えているからです。入館料に含まれる絵付け体験では、鑑賞後に小皿へ絵を描き、その場で焼き付けて持ち帰ることができます。展示室で受け取った印象を、自分の手で表現することでアートとの距離がぐっと縮まります。また、人間国宝作の貴重な茶器を用いた抹茶体験では、本物の作品を手にとって感じる器の重みや口当たりを通して、美術をより身近に感じていただけるはず。山口のコレクションは、ルノワールやルオー、ピカソ、岡本太郎、藤田嗣治をはじめ、人間国宝作の陶磁器や人形など、その総数は2500点を超えます。こうした多彩なコレクションの持ち味を生かし、山口体験美術館では、ジャンルや時代にとらわれない幅広い作品を展示することを心掛けています。鑑賞を通して、何か一つの作品との出会いが、美術に興味を持つきっかけになってほしい—それが、当財団が目指す山口体験美術館のありかたです。加えて、二か月に一度のペースで



触れるのも有り難く、味わうのもまた至福の体験でした。



どれもこの世に一点しかない迷作ばかり。果たして、家宝となるか。

展示替えを行っているため、何度訪れても新しい出会いがあることは、当館の大きな魅力の一つです。豊かな作品との出会いが、皆さまにとって心に残る体験となりましたら幸いです。どうぞ、山口体験美術館で、ご自身だけの「好き」や「楽しい」を見つけてみてください。(山口体験美術館学芸員 阿南裕太)



学芸員の阿南さん

【体験をした編集委員の声】
 ・普段は有り得ない名茶器を手にしての一言に、緊張の茶の湯体験を味わいました。さて、館内をめぐると息を呑むような驚きと感動の連続です。この世の素晴らしいアートの全てに会えるような気がしてきました。ここはまさしく「山口ビックリ美術館」ですね。東京芸大大学院を出られた学芸員の方たちも優しく親切で、時の過ぎるのを忘れてしまいました。(N.S)
 ・古今東西の文化財を、ほんの短い間で見るすることができます。こんな体験はしたことない、でも不思議な世界です。(S.Y)

山口体験美術館 HP